

置かれた場所で

富岡市立南中学校

三年 渡邊 愛菜

「Bloom where God has planted you.」これは、「神に置かれた場所で咲きなさい」という意味の英詞です。この詞は、「咲く、ということとは仕方ないとあきらめることではなく、笑顔で幸せに生き、周りの人々も幸せにすることなのです。」と続きます。

中学一年生の夏、不完全型房室中核欠損症という病気が私の心臓に見つかりました。そして、二年の夏に入院し、手術することになりました。手術が終わると、夜も眠れないほどの痛みが私を襲い、「苦しい」「辛い」「もう消えてしまいたい」という気持ち私の心をうめつくしていきました。そんなとき、私はある一冊の本と出会いました。それは「置かれた場所で咲きなさい」という本です。読み終えて私は、こう考えました。

「今私の置かれている場所がこの病院のベッドであるとするなら、私はどのように咲くことができるだろう。」と。周りを見渡すと、三人の少女がいることに気がつきました。彼女たちの置かれた場所、それは私よりも重い病気とたたかい、数ヶ月間の入院を何度も繰り返すという生活でした。ですが、彼女たちはたしかに強く咲いていました。私は数週間の入院ですら苦しいと感じ、咲くことなんて考えてもいなかった。それなのに、私よりも苦しい環境の中で自分の幸せを見つけ、笑顔で過ごしている彼女たちの姿は、あまりに美しく、輝いて見えました。そして、今度は自分が元気づけられるように頑張りたいとさえ思いました。その時、あの英詞の意味が唐突に分かったような気がしました。そうか、自分が笑顔で生きるということは、周りの人を元気づけることにもつながるんだ。長いこと心から笑えていなかった自分に、その時気付いたので。そして、「これからは、自分の置かれた場所で精一杯の花を咲かせよう。」と心に決めたのです。

退院した今、私は今回の手術は自分を成長させるた

めにあったのだと考えます。私はこの手術で多くのことを学ぶことができました。それは、病気とたたかう時の苦しさや、人の痛み、周りの人よりも不自由であることの辛さです。そして、以前よりも人に優しく接することができ、思いやりをもって人と関われるようになりました。

私は今、クラスでは班長、学校では最高学年、世間から見れば受験生など、さまざまな場所に置かれています。そのそれぞれの場所で、自分だけの花を咲かせる努力をします。そして、虹色スマイルやユキワリソウのように、目立たない日陰や雪の下でも健気にたくましく咲くことができ、見るとついほほえんでしまうような美しい花を咲かせたいです。

今置かれている場所の中での自分はまだつぼみにもなりません。しかし、どんな時でも大切にしていることがあります。それは、「たとえ日照り続きで花を咲かせることができない日でも、下へ下へと根を伸ばす努力をし、毎日の小さな幸せをたくさん見つけ、与えられたことに不満を言わないこと。そして、笑顔とい

う美しい花を咲かせ続けること。」です。そうすれば、いつかきっと自分の置かれた場所の意味が分かる日がくると信じています。いや、必ず来ます。